

## 2021 年度 全学共通科目の自己点検・評価結果

教育支援・国際交流推進機構 教養教育センター

第3期（2016－21年度）の中期目標では、組織的・継続的な教育改善に取り組む手段として、全学・各学部及び研究科レベルでの定期的な教育プログラムの自己点検・評価を掲げており、その一環として2021年度には教養教育センターで全学共通科目の自己点検・評価を行った。以下、自己点検・評価の対象、方法及び結果の概要を示す。

### ■自己点検・評価の対象

全学共通科目の場合、教育課程の編成は各学部が、開設計画の作成は各教科集団が所掌するため、教育課程の編成に関しては4つの学部を、授業科目の開設に関しては17の教科集団を、それぞれ対象とした。また全学共通科目の企画・運営全般に関しては、教養教育センター自身を対象として設定した。

点検内容	点検対象（内訳）	
教育課程の編成	学部	①地域学部 ②医学部 ③工学部 ④農学部
授業科目の開設	教科集団	①哲学・倫理学・現代思想 ②教育学 ③心理学 ④臨床心理学 ⑤芸術・芸術学 ⑥文学・言語学 ⑦法学・政治学・社会学 ⑧経済学・経営学 ⑨歴史学・地理学 ⑩数学・統計学 ⑪物理学 ⑫化学 ⑬生物学 ⑭地学 ⑮情報科学 ⑯外国語 ⑰健康スポーツ科学
企画・運営全般	教育支援・国際交流推進機構 教養教育センター	

■自己点検・評価の方法

各学部・教科集団の自己点検は各設問の選択肢（概ね、①完全肯定、②部分肯定、③完全否定）から選択する方式で行われた。各学部・教科集団の自己点検結果を、教養教育センターのWGが以下の判断基準に従って、3種に分類して判定した。

分類	判断基準
◎	改善の成果が十分認められるもの。
△	改善の試みは認められるが、今後も引き続き改善の取組が求められるもの。
※	改善の取組が十分ではなく、今後早急に着手することが求められるもの。

■自己点検・評価の結果

①学部（全4学部）に関する点検項目・評価結果

（数値は該当する学部の数）

区分	点検項目	◎	△	※
1 全学共通科目全体の教育目標	全学共通科目の教育目標は、学部の卒業認定・学位授与の方針（DP）に照らして策定され、学生、教員、学外に明示されているか？	4	0	0
2 全学共通科目全体の教育課程	全学共通科目の教育課程は、学部の教育課程編成・実施の方針（CP）に照らして策定され、学生、教員、学外に明示されているか？	4	0	0
3 全学共通科目の授業内容	開講している授業科目は全学共通科目として適切か（特定の学部学科に特化した内容になっていないか）？	3	1	0
4 卒業に必要な全学共通科目の総単位数	卒業に必要な全学共通科目の総単位数は適正か（専門科目を重視して、全学共通科目の単位を軽視していないか）？	4	0	0
5 全学共通科目の科目区分ごとの履修単位数	入門・教養（基幹・主題・キャリア科目）・外国語・健康スポーツ科目の履修単位数のバランスは適切か（いずれか特定の科目区分を極端に重視、あるいは軽視していないか）？	4	0	0
6 全学共通科目の科目区分ごとの履修年次・学期	入門・教養（基幹・主題・キャリア科目）・外国語・健康スポーツ科目の履修単位数における履修年次・学期のバランスは適切か（いずれか特定の学年・学期に特定の科目区分をまとめて受講させていないか）？	4	0	0
7 全学共通科目の科目区分ごとの履修曜日・時限	入門・教養（基幹・主題・キャリア科目）・外国語・健康スポーツ科目の時間割における開設曜日・時限のバランスは適切か（教養科目の配当時間に専門科目を開設していないか）	3	1	0
8 全学共通科目の担当教員	各学部は全学共通科目の担当を考慮した教員採用人事・昇任人事を行っているか（各学部の教員人事において、全学共通科目の担当実績・能力は審査されているか、その審査は全学共通科目の担当実績・能力を有する教員によって行われているか）？	3	0	1
9 《医学部のみ》 全学共通科目の質的な一元化	鳥取・米子地区における全学共通科目の質的な一元化は図られているか？	1	0	0

## ②教科集団（全17集団）に関する点検項目・評価結果

（数値は該当する教科集団の数。教科集団によっては該当無しの場合もあるため、合計は17にならない場合がある）

	区分	点検項目	◎	△	※
1	全学共通科目のDP・CPとの整合性	全学共通科目は、全学の卒業認定・学位授与の方針（DP）に定められた能力を養成する目的で適正に配置され、全学の教育課程編成・実施の方針（CP）に基づいて運用されているか？	17	0	0
2	全学共通科目の教科集団による開講	全学共通科目は、いずれも教科集団の協議に基づいて開講されているか？	13	3	1
3	全学共通科目のカリキュラム構成	全学共通科目では、幅広い分野からなる文理横断的なカリキュラムが組み立てられているか？	10	4	0
4	全学共通科目の改廃	基幹科目（人文社会分野）の選択必修化以外で、第3期中期目標期間に教科集団もしくは教養教育センター（昨年度までは教育センター）が主導した全学共通科目の改廃は行われたか？	8	0	7
5	全学共通科目におけるDP能力の配点	DP能力の配点表は教科集団での協議を経て作成されているか？	14	1	1
6	科目抽選結果の情報開示	授業計画の立案（配当曜日時限・受け入れ定員の設定）に必要な抽選結果の情報は、教科集団に対して迅速に（次期開設計画の作成前に）開示されているか（履修希望者数の動向に基づいて開設クラス数・受け入れ定員の見直しが図られているか）？	9	0	7
7	抽選科目の規模	抽選制度が適用される科目において、受け入れ定員とクラス数、履修希望者数はいずれも適切か？	11	5	1
8	指定クラスの科目の規模	抽選制度が適用されない指定クラスの科目において、クラスの規模とクラス数は適切か？	15	0	0
9	シラバス記載内容のチェック体制	教科集団は、所属する教員が担当する科目のシラバス記載内容についてチェックを行う体制を整えているか？	9	3	5
10	能動的学修（アクティブ・ラーニング）の導入	教科集団が開設する科目のうち、能動的学修（アクティブ・ラーニング）の導入（授業の一部のみに導入している場合でも導入とカウント）科目数はどの程度か？	11	4	0
11	科目の到達目標	科目の到達目標について、ルーブリック等を用いて具体的な達成水準を事前に明らかにしているか？	9	5	2
12	複数の教員が担当する同一名称科目の質の保証	複数の教員が担当している同一名称の科目において、教員は連携してシラバスの共通化、講義内容の共通化、試験問題の共通化、成績評価の平準化等を図っているか？	5	8	1
13	教科集団の教員編成	教科集団の教員編成は適正か（教科集団の学問領域と関係ない教員が形式的に登録していないか）？	12	3	1
14	授業科目の開設に必要な教員の配置	教科集団には授業科目の開設に必要な教員が配置されているか（必修ないし選択必修科目は、専任教員によって開設されているか）？	10	4	2
15	授業科目の分担	教科集団に所属する教員の間で授業担当は適正に分担されているか（特定の教員に負担が集中したり、まったく担当しない教員がいたりしないか）？	9	6	1

③教養教育センターに関する点検項目・評価結果

	区分	点検項目	結果
1	全学共通科目の改廃	基幹科目（人文社会分野）の選択必修化以外で、第3期中期目標期間に教科集団もしくは教養教育センター（昨年度までは教育センター）が主導した全学共通科目の改廃はあるか？	◎
2	全学共通科目の質的な一元化	鳥取・米子地区における全学共通科目の質的な一元化は図られているか？	◎
3	科目抽選結果の情報開示	授業計画の立案（配当曜日時限・受け入れ定員の設定）に必要な抽選結果の情報は、教科集団に対して迅速に（次期開設計画の作成前に）開示されているか（履修希望者数の動向に基づいて開設クラス数・受け入れ定員の見直しが図られているか）？	※
4	抽選科目の規模	抽選制度が適用される科目において、受け入れ定員、クラス数と履修希望者数はいずれも適切か？	△
5	指定クラスの科目の規模	抽選制度が適用されない指定クラスの科目において、クラスの規模とクラス数は適切か？	◎
6	成績評価の適正さ	あらかじめ定められた成績評価基準を踏まえて成績の評価が行われていることを事後的に検証する仕組みは講じられているか？	△
7	GPA制度等の整備	全学共通科目に関して以下の仕組みは整備されているか？	
		①ナンバリング	◎
		②CAP制	◎
		③GPA制度	◎
		④成績の疑義申立	◎
		⑤不正行為への対応	◎
8	全学共通科目の多様性	①現代社会の多様性に対応した科目は開設されているか（グローバル化・地域活性化への対応などを想定）？	◎
		②学生の多様性に対応した科目は開設されているか（教養基礎科目・社会人向け公開講座などを想定）？	◎
9	全学共通科目に関する履修手引	全学共通科目に関する履修手引きは作成されているか？	◎
10	全学共通科目に関する履修支援	全学共通科目に関する履修ガイダンス・履修相談の機会は設けられているか？	◎
11	共通教育棟の設備環境	①共通教育棟において講義室は十分確保されているか？	◎
		②共通教育棟において学習スペースは確保されているか？	◎
12	全学共通科目の参考図書の整備	附属図書館に全学共通科目の参考図書は整備されているか？	◎